

志ナクテ、其ニ推シ、隠シテ人之非ヲ揚テ、夫ガ惡ヨリハ輕キナド、談ズルノミニテ、邪智我慢第一強ク、人ヲ足下ニ見ナシ、人ノ善ヲケシ、我惡ヲ隱スノ類ニテ、萬事根ノトグル事無唯大風洪水之出ルガ如クニテ、根ニシマル意地スクナシ、雖然形儀勇武ノキ、ビシキ處アレバ、伊賀伊勢、志摩三ヶ國合タルヨリ、上成所有、古ヨリ秀ル者モ有、下劣之心底猶以カタクナシ、然ル故ニ、善ニ進ム事寡フ而惡ニ從フ事強シ、去ルニ因テ謀叛一揆之類發スル事モ古今多シ、飾氣スクナキ故ニ、實儀之人モ多クシテ、惡ヲ見テ惡ト知テ改ル人モ有、中ノ風俗之國也、男之言葉好シ、是國ヲ治ムルニハ、處々ニ黨多而、地下人モ黨ヲ結ビ、我慢ノサムルコトヲ不盡而、傾ク事日ヲ可經乎、其黨類ヲ懷ケ、正道ヲ以是ヲ教ヘ、邪義ヲ不誹シテ、恩ヲ加ヘ、是ニ談ズルニ禮ヲアツク而、威ヲハゲマシ、與之節ヲ考ヘ、是ヲ示ニ節ヲ以シテ、後ニ善ヲ全ク知テ合一スベシ、無左シテ一應ノ威光嚴ヲ以テ是ヲトリヒシグトモ、亦本ニ可歸視、其機氣察、其未發而後ニ是ヲヌクハ、良將之法也、此國ニハ別而口傳、

〔日本鹿子、尾張國中名所舊跡之郡〕

阿波手アハテの森 下津アツと云里の南に此森あり、美濃の垂井より此森まで行程十里なり、あかし川と

云あり、是は美濃の内なり、すのまたと云所より下津まで五里ばかりなり、源雅光のうたに、

名にたてる阿波手の浦のあまだにも見るめはかづく物とこそきけ

萱津原カヤヅハラ 下津より一里ばかり北にあり

東路のかやつアツの原の朝露におきわかるらん袖はものかは

熱田アツ 宮あり、くはしく神社の所に有之、南より西へ海あり、熱田の潟カサといふなり、

鳴海ナガ 宿の名也、熱田より行程一里半餘なり、

昔にもあらず、鳴海の里にきて都ゆかしき旅ねをぞする